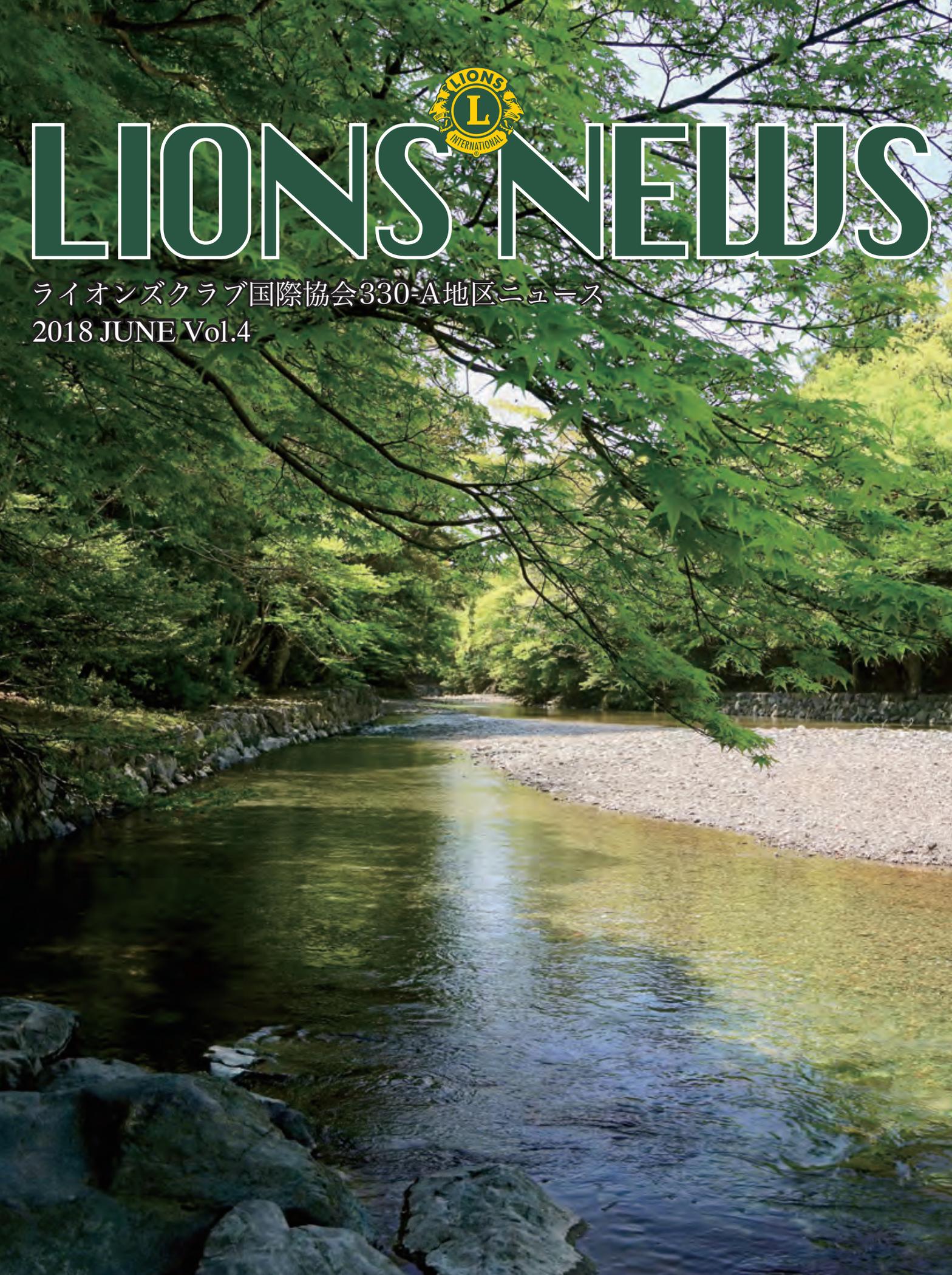




LIONS NEWS

ライオンズクラブ国際協会330-A地区ニュース
2018 JUNE Vol.4



第64回年次大会代議員会を開催



議長：地区ガバナー細川孝雄

2018年4月14日（土）9:30より13:00まで 第64回年次大会代議員会が（港区）東京プリンスホテルにおいて開催された。

今回の代議員会の代議員数は602名で、開始時間までに登録・入場を済ませた代議員は571名であった。細川議長の挨拶の後、大会議事規則の説明、資格審査の発表の後、議事に入り、2018～2020年度国際理事候補者推薦を332-D地区L安澤荘一（白河小峰LC）にて承認、第65回年次大会の開催地を東京に選定、続いて330-A地区法人化推進について審議に入った。

組織連携・再編検討委員会（L池田和司委員長）の提案理由説明の後の質疑応答において数名の質問および意見表明があり、その後採決に入り来期にかけて地区法人化の検討・議論を深めることが承認された。引き続き次期地区ガバナー、次期第1副地区ガバナー、次期第2副地区ガバナー各候補者の所信表明および投票に入り、その後各分科会の審議に入った。昼食の後代議員会が再開、投票結果が発表され、次期ガバナーにはL今井文彦（東京巣鴨LC）、次期第1副地区ガバナーにはL伊賀保夫（東京ピースLC）次期第2副地区ガバナーにはL進藤義夫（東京世田谷LC）が選出された。（投票の結果については下記のスライド画像を参照）最後に各委員会・分科会の報告および決議が行われすべての議事が無事終了した。（レポート）広報情報委員会



議事進行



L進藤義夫を次期第二副地区ガバナーに選出



議事の採決



会場全景

投票結果報告			
2018～2019年度 次期第2副地区ガバナー選出のための投票の結果			
投票総数	567票	有効票	556票
無効票	11票		
以上の投票の結果			
東京吉祥寺ライオンズクラブ所属	L青木秀茂	153票	
東京世田谷ライオンズクラブ所属	L進藤義夫	403票	
東京世田谷ライオンズクラブ所属L進藤義夫が当選に必要な過半数を上回っています。			
よって地区ガバナー、第1および第2副地区ガバナー指名・選挙管理委員会は東京世田谷ライオンズクラブ所属のL進藤義夫を次期第2副地区ガバナーに選出しました			

投票結果報告

100周年特別・第64回年次大会式典・アワード表彰・晩餐会

4月14日（土）14時より東京プリンスホテルに於いて『ライオンズクラブ国際協会330-A地区100周年特別・第64回年次大会式典』が開催された。



鈴木大地スポーツ庁長官 中川雅治環境大臣の記念講演

「細川キャビネット一年のあゆみ」の開会映像でこの1年を振り返ったあと、阿久津隆文大会委員長の式辞、そして細川孝雄大会会長の挨拶があり、続いて山浦晟暉元国際理事、中村泰久国際理事、佐藤義雄国際理事による来賓の挨拶があった。今回は100周年記念事業として2017年12月1日に開催された「フジコ・ヘミングチャリティコンサート」が発表された。またライオンズソング・コンペティション グランプリ受賞曲の発表と贈呈式があり、受賞曲が会場で斉唱された。大会記念アクティビティでは、東京都赤十字血液センター様及び東京都障害者スポーツ協会様に目録と感謝状が贈呈された。

式典後半では、中川雅治環境大臣の挨拶のあと、鈴木大地スポーツ庁長官による「スポーツが変える。未来を創る。」と題した大会記念講演が行われ、スポーツをすることの大切さを病気の予防・健康寿命など様々な角度からフォーカスして話し



ガバナーエレクトL今井文彦の入場

て頂いた。その後、慶應義塾ワグネル・ソサィエティ・オーケストラによる大会記念演奏会が開催されたあと、次期地区ガバナーL今井文彦エレクトが会場にいる多くのメンバーに祝福されながら華々しく入場し、次期地区ガバナーL今井文彦エレクト、次期第1副地区ガバナーL伊賀保夫、次期第2副地区ガバナーL進藤義夫の紹介と花束贈呈等が行われた。17時からはガバナーズ・アワード表彰式がクラブ・個人向けに行われ、各アワードが発表されると会場は盛り上がった。続く晩餐会では、330-B地区ガバナーL濱田徹、330複合地区ガバナー協議会議長・330-C地区ガバナーL田中明による来賓挨拶やモンゴルメンバーの登壇、「TOMOKO with Special Stars」によるバンド演奏、東日本大震災・熊本震災支援のラッキーカード抽選会等があり、盛会となった。100周年から次の100年に向かう節目の年次大会は、大会テーマである「夢」に相応しい第64回年次大会となった。（レポート）広報情報委員会



ガバナーエレクトL今井文彦（東京巣鴨LC）



細川ガバナー夫妻、今井ガバナーエレクト夫妻、伊賀次期第一副地区ガバナー、進藤次期第二副地区ガバナー



大会記念演奏会 慶應義塾ワグネルソサィエティ・オーケストラ

INDEX

- 表2 — 100周年特別・第64回年次大会
- 02 — 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた協力支援
- 04 — クラブアクティビティ報告
- 10 — 特集「薬物乱用防止教室」ほか

- 14 — クラブアクティビティ報告
- 16 — クラブ周年行事
- 17 — 委員会等告知
- 20 — 第19回東京都障害者スポーツ大会
- 表3 — キャビネットよりお知らせ

東京2020オリンピック・パラリンピック

I 基本理念と活動状況

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区（東京地区）のライオンズメンバーは、2013年1月から2月にかけて、主に JR 駅の改札口等で東京オリンピック・パラリンピックへの招致に向けた署名活動を行い、5万人の署名を集め猪瀬直樹東京都知事に提出させていただきました。

2013年9月7日（現地時間）アルゼンチン、ブエノスアイレスで開催されました IOC 総会で 2020 年オリンピック・パラリンピック開催都市が東京に決定されました。日本のライオンズクラブは開催都市が東京に決定されたことを受けまして、実施支援に向けて 330-A 地区（東京地区）の所属する複合地区より全国の複合地区に呼びかけ、各複合地区の承認を経て「東京 2020 オリンピック・パラリンピック支援 5 ヶ年プログラム」を実施に移し、全国のライオンズメンバーより 5 年間で約 4 億円の寄付を集うこととなりました。

オリンピック・パラリンピックという単に大きな競技大会だから協力支援するのではなく、下記を基本理念とし社会奉仕活動の一環として東京 2020 オリンピック・パラリンピックへ協力支援をさせていただくこととなりました。

オリンピック・パラリンピックという単に大きな競技大会だから協力支援するのではなく、下記を基本理念とし社会奉仕活動の一環として東京 2020 オリンピック・パラリンピックへ協力支援をさせていただくこととなりました。

1. 1964 年東京オリンピック・パラリンピックでの実績を考慮

1964 年東京で開催されました「第 18 回オリンピック競技大会」でライオンズクラブは、国立競技場における参加国国旗掲揚ポール 100 本、移動式トイレトカー 2 台、また、パラリンピックに後援協賛金として約 870 万円を贈呈いたしました。

このライオンズメンバー先人たちの貢献に鑑み、来たる 2020 年にもその意志を受け継ぎ全国のライオンズメンバーの協力を仰ぎ、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに協力支援をさせていただきます。

2. 「オリンピズム」と「ライオニズム」の基本理念の共通性

ピエール・ド・クーベルタン男爵が唱えたオリンピックの理念は、「オリンピズム」と呼び、スポーツを通じて文化、国



「鈴木東京オリンピック・パラリンピック担当大臣へ支援事業目録の贈呈」大臣室にて
(写真中央：鈴木俊一大臣、その右側：丸川珠代前大臣、鳥原 JPC 会長、中森 JPC 事務局長、
前方に支援選手 船水 梓緒里さん (17 歳))

籍など様々な違いを乗り越えフェアプレーの精神と友情・連帯を大切にしながら平和な社会を築き、人類の調和のとれた進歩を導くことを理想としています。

そこには、1917 年ライオンズクラブ創設者のメルビン・ジョーンズが呼びかけた「ライオニズム」国籍、主義の異なった人々をつなぎ合わせより良い世界へ導こうとする信念、と共通する理念があります。

来たる 2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックは、「青少年に夢と希望を・障がいのある方々に自信と勇気」を持っていただく又とない機会であり、それは日頃私たちライオンズクラブが行っている青少年健全育成や障がい者支援の社会奉仕活動の一環と意志を同じくするものです。

一昨年のリオデジャネイロ オリンピック・パラリンピックの終了を待って東京 2020 オリンピック・パラリンピック支援に向けた方策を検討してまいりました。

その結果四つの柱の協力支援基本構想を実施させていただきます。

II 東京 2020 オリンピック・パラリンピック 支援に向けた協力支援基本構想

1. 東京パラリンピック大会出場を目指している次世代選手への支援
NF（国内競技連盟）日本代表選手以外の、その一歩手前のパラ選手に対する財政的支援を行います。

に向けた協力支援

一般社団法人日本ライオンズ
オリンピック・パラリンピック委員会

対象選手(以下の①～③を全て満たす選手又は④を満たす選手)

- ① 30 歳以下、または障がい受傷後 5 年以下の選手
- ② 競技団体の強化指定選手（育成選手）
- ③ 次のア～ウに該当しないこと
 - ア 過去の夏のパラリンピック日本代表選手
 - イ (独)日本スポーツ振興センターからスポーツ振興基金助成金アスリート助成を受けている選手
 - ウ アスリート雇用の選手（企業等から競技に専念できる形態で雇用されている選手）
- ④ 地域のライオンズクラブが推薦した選手

予算額 2 年間 2 億円 選手の活動資金援助 / 平成 30 年度
148 名支援 総額 9,135 万円

2. 障がいのある子供達を東京パラリンピック競技会場へ招待
様々な障がいのあるアスリート達が創意工夫を凝らして限界に挑むパラリンピックは、多様性を認め、誰もが個性や能力を發揮できる公正な機会があたえられている場です。多数の障がいのある児童生徒にパラリンピック競技を観戦していただき、スポーツを通して沢山のことを感じ取っていただきたい。

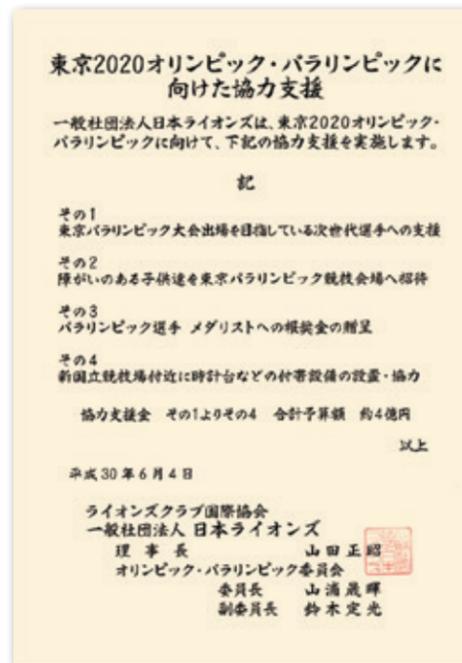
児童生徒（小学 5 年生～中学生）全国 700 名保護者 1,400 名計 2,100 名を招待

チケット代、交通費等の補助 予算額 7,500 万円

3. パラリンピック選手 メダリストへの報奨金の贈呈
努力して成果を出されたパラ選手へ金メダル・銀メダル・銅メダル等メダルの色に関わらず一律 100 万円の報奨金の贈呈をさせていただきたい。

4. 国立競技場付近に時計台などの付帯設備の設置・協力
国立競技場付近にライオンズクラブが東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会に協力支援を実施したレガシーとして付帯設備の設置及びその協力をさせていただきたい。

今から 54 年前の 1964 年東京で開催されました「第 18 回オリンピック競技大会」においてライオンズクラブは、国立競技場に参加国国旗掲揚ポール 100 本、移動式トイレトカー 2 台を寄贈しています。過去の実績を踏まえ、パラリンピックへの協力支援を含めた総合的な財政的支援の結果として時計台などの付帯設備の設置・協力をさせていただきたい。
協力支援金 1～4 合計予算額 約 4 億円



東京パラリンピック大会出場を目指している次世代選手への支援

今年度の支援選手は 148 名、支援総額 9,135 万円です。支援金は選手の大会・合宿への遠征費用、競技用具の購入費用、練習費用などに使用されます。

下記は岡崎ライオンズクラブより推薦の Y 選手（陸上競技・知的障がい部門・20 歳）の母親のメッセージです。

「先日、事業資金 50 万円を入金していただきありがとうございました。遠征費用、合宿費用、帯同費用、トレーニングの備品等のために大切に使用させていただきます。今は秋に開催されるアジアパラ出場を目指して練習に励んでいます。2020 年東京も出場できるよう頑張っていきたいと思っています。本当にありがとうございました。」



取材協力) 一般社団法人日本ライオンズ パラサポート事務局 L 戸部研一
330-A 地区オリンピック・パラリンピック支援委員会 委員長 L 工藤 章

クラブアクティビティ報告

奉仕活動の原点であるクラブアクティビティをご紹介します。
魅力あるこれらのクラブアクティビティは我々ライオンズメンバーの誇りです。

東京石泉 LC41 周年チャーターナイト例会

7R3Z 東京石泉 LC

4/5

東京石泉 LC41 周年 CN 例会にお招き頂き、子クラブとして東京山王 LC のメンバー 9 名が参加いたしました。手の込んだ席札をはじめ、心尽くしのおもてなしに感動でした。アトラクションは、無形文化財「武州里神楽」十世家元石山裕雅社中による祝詞や、賑やかなお囃子による「寿獅子」の舞。獅子に頭をカブツと噛まれると、災いを噛み砕くと言われ、お金を獅子に噛ませると尚一層のご利益があるとか。

閉会の挨拶で、L 曾我幸弘が「東京石泉 LC は、長老から若手まで、年齢の幅がありますが、とにかく仲が良いのです。僕はこのクラブが大好きです」と声を詰まらせながら挨拶されていたのが印象的でした。昨年、東京石泉 LC40 周年の記念事業として、私達東京山王 LC 結成のスポンサーをして頂きました。

レポート) 東京山王 LC 会長 L 大川あつ子



ニューヨーク・ジャパニーズアメリカン LC と東京ピース LC の合同アクティビティ

1R2Z 東京ピース LC

4/9、4/15

昨年から語学留学でニューヨークに住んでいる東京ピース LC のメンバー、L 若林佳奈は留学時に中村国際理事を通じてご紹介いただいた日系の方々のクラブ、ニューヨーク・ジャパニーズアメリカン LC で準会員として活動しています。先月は「国連ライオンズ・デー」に参加、国連本部で世界中のライオンや外交官たちと交流、国連とライオンズが引き続き

協力して世界中の支援が必要な人々に対してどのようなサポートができるかを発見する会議に参加しました。ライオンズクラブ国際協会は、国連憲章起草への助力を最初に求められた非政府組織 (NGO) の一つで、現在では UN、UNICEF、UNESCO、WHO などと協調して国際協力を続けています。

東京ピース LC 会長 L 山下規介



テーマ:国際交流
於 ニューヨーク 国連本部、WESTPOINT 陸軍士官学校



私が所属する東京ピース LC と友好クラブを締結しているニューヨーク・ジャパニーズアメリカン LC の準会員として、昨日 WESTPOINT の陸軍士官学校を訪問してきました。士官学校内で、日本に触れる機会をもっと増やすため数年前から教科書を寄付しています。日本のコミュニティが大きくなると、日本への研修目的での渡航を学校が援助してくれるようになるそうです。今年はニューヨーク・ジャパニーズアメリカン LC と東京ピース LC が合同で教科書を寄付することになり、東京ピース LC を代表して教科書を生徒に渡して参りました。

東京ピース LC L 若林佳奈

貧困の子供達へ食料支援の街頭募金活動

テーマ:青少年健全育成
於 有楽町

1R2Z 東京ピース LC 『スマイル支部』

4/15

昨年 10 月に東京ピース LC の支部として発足した『スマイル支部』。今迄は、貧困の子供達へのお食事作りボランティアを行ってきたが、今回、初めての街頭募金活動を行った。参加メンバーの殆どが街頭での募金活動は初めてという事もあり、募金をして下さる方がいるのか不安もあったが、小さなお子様連れから、サラリーマンの方、お年寄りの方や若い女性、数え切れない位、ご協力頂いた。メンバー同声を振り絞って、道行く方々にお声掛けをした真剣な姿が、皆さんの心に響き、予想以上に募金へご協力頂いた。



親クラブの東京ピース LC の皆様も駆け付けて頂き、本当にその温かいご支援にメンバー一同感激した。

東京ピース LC スマイル支部 支部会長 L 生井洋子



熊本地震復興支援の募金活動

テーマ:復興支援
於 東西線西葛西駅前

5R2Z 東京江戸川南 LC

4/16

4 月 16 日 (月) 東西線西葛西駅前において「熊本地震復興支援の募金活動」を実施した。2016 年 4 月 14 日の 21 時 26 分に発生し

てから 震度 7.6 強、6 弱・・・相次いで発生したあの日から ちょうど 2 年が経過した。徐々にではあるが、復興にむかっているが、まだ仮設住宅で暮らしている方が 3 万人ほどいるようである。当クラブは、今後も被災地の皆様が平穏な生活に戻れるまで、毎年 4 月に募金活動を実施する予定である。

当日は江戸川ボーイスカウト、5R2Z のメンバーが多数応援に来て頂き、お陰様で 380,285 円の募金をお預かりすることがで



きた。この募金は 即日熊本の「荒尾 LC」に送金し、有効に使って頂く事になっている。

東京江戸川南 LC 会長 L 硯川俊浩

献血アクティビティ

テーマ:献血
於 電源開発公社ビルのフロントスペース

2R2Z 東京銀座 LC

4/17

銀座 LC が日赤と提携して春・秋の年 2 回行う献血アクティビティです。

今回は、2018 年 4 月 17 日に銀座 6 丁目昭和通りに面した電源開発公社ビルのフロントスペースをお借りして実施されました。歩道上で、行き交う方々への呼びかけも行いました。日赤から採血車が 2 台横付けされ、来訪者 138 名中、献血者 125 名となり、2 名は銀座 LC 正会員でした。献血条件も厳格になり、400ml 献血が普通の中、銀座 LC 会

員の関連企業や電源開発公社からの動員もあり、10 時～16 時の時間の中で上記の結果をだすことが出来ました。銀座 LC の会員は、受付のお手伝いをして、次の更なるメディカルチェックと引継ぎました。秋の実施に向けて、協力していただいた関係団体へ、今回のお礼を申し上げるとともに次の参加依頼も行ってまいります。

銀座 LC 広報委員会副委員長 L 石田善計



クラブアクティビティ報告

東京昭島 LC 市内清掃活動

13R1Z 東京昭島 LC

4/22

2018年4月22日に東京昭島LCではJR青梅線の東中神駅から昭島駅までの線路沿いの公道(約2.3km)の清掃活動を行った。同クラブではこの清掃活動をおこなうにあたり昭島市の「公共施設アダプト事業団体」に登録をした。「公共施設アダプト事業団体」とは道路・公園など清掃場所を市に登録した上で定期的に美化・清掃活動をおこなう団体のことである。「公共施設アダプト事業団体」に登録すると、市から各団体へ清掃道具やゴミ袋の提供、ポ

ランティア保険の加入などの支援を受けることが可能となる。特に多かったゴミはタバコの吸い殻、飴など菓子の袋であった。またティッシュや紙マスクも多く回収し、紙であっても土には還らず残ることが勉強になった。

東京昭島 LC 第一副会長 L 関飛雄一

テーマ:環境保全
於 JR 青梅線 東中神駅～昭島駅線路沿い



少年野球閉会式表彰

13R2Z 東京田無 LC

4/22

絶好のスポーツ日和の全日本学童軟式野球東京都予選西東京市地区大会の閉会式で、支援金授与、表彰を行った。力強い選手宣誓や選手の父兄からも力強い声援の下、日頃の練習成果を惜しみなく発揮して白球を一生懸命に追っかける姿は感動に値するものである。また、この大会の中で将来、プロ野球選手となる少年がいる事を切に願いたい。

最後に、優勝、準優勝、第3位の清々しい選手たちと記念撮影をし、これからの活躍を願った。

東京田無 LC L 高橋雅人



テーマ:青少年健全育成
於 西東京市



盲導犬育成チャリティコンサートを開催

9R1Z 東京品川 LC

4/25

東京品川ライオンズクラブ(会長 L 伊藤義夫)は盲導犬育成支援のため、チャリティコンサートを4月25日(水)の夕刻18:00

より開催した。第1部ではフレーベル少年合唱部のコーラス、第2部では盲導犬体験、そして第3部では有名な歌手、安倍里禎子オンステージを行い地域の方々を大いに楽しませた。フレーベル少年合唱部は1959年に誕生した児童合唱団で、本年創立58年の歴史ある合唱団である。収益金、募金は公益財団法人アイメイト協会へ全額寄付される。東京品川ライオンズクラブは2019年10月に結成60周年を迎える。

レポート) 広報情報委員会



テーマ:社会福祉
於 大井町きゅりあん小ホール



知り合おう!つなごう!チャリティーウォーク

テーマ:健康促進
於 江戸川区総合文化センター

5R2Z 東京江戸川なでしこ LC 4/28



晴天の中、第4回知り合おう!つなごう!チャリティーウォークを開催した。江戸川区総合文化センターより出発し、今井ガバナリーエレクトや近隣クラブの皆さんにもご参加いただき、ウォーキングや食事をしながら、災害時のことについて話し合い盛大に終わることが出来た。同日開催の「なでしこあわせ食堂」もご近所の皆さんにお越しいただき子どもから大人まで、みんな仲良く楽しい時間を美味しいご飯と共に過ごし、こちらも大盛況であった。

東京江戸川なでしこ LC 会長 L 早川和江



青少年育成支援「ツリークライミング」

テーマ:青少年健全育成
於 八王子市つどいの森公園

14R1Z 東京八王子高尾 LC 4/28

ゴールデンウィーク初日の4月28日、ツリークライミングジャパン(以下TCJ)及び青少



年健全育成・ライオンズクエスト委員会の皆様の協力のもと、当クラブ初の単独アクティビティとして八王子市つどいの森公園に於いて参加者48名、細川ガバナー、萩原副幹事、TJC7名、委員会7名、当クラブからはメンバー15名、ライオンレディ3名で、10時、12時半、14時の3回に分け開催した。初めて参加する子供たちも、何度か経験している子供たちもTCJスタッフの指導で事故もなく無事に終了した。また、3月にキャビ



ネット事業で植樹したハナミズキ、ツツジの雑草が茂っているのを見かね、クラブ最長老のL篠崎が除草を行った。

東京八王子高尾 LC 会長 L 増田克哉

武相マラソン大会支援

テーマ:健康促進
於 町田市

12R2Z 東京町田クレイン LC

4/29

日一日と緑濃くなる4月29日(日曜日)、41回目を数える地元で行われる「武相マラソン」に今年もお手伝いとして参加した。武相マラソン大会は、緑豊かな多摩丘陵の自然とアップダウンのあるコースが魅力で、毎年、全国から多くのランナーが集う大会である。給水場の設置、貴重品の保管など盛沢山あり、我々クラブは総勢24名でお手伝いさせて頂いた。早朝より気温が高くなり、選手も我々も夏間近の晴天の下、最後まで完走した。

走者からはお礼と労いの言葉もいただき、大変嬉しく励みになったアクティビティであった。

東京町田クレイン LC 会長 L 志村容一



献血奉仕活動及び社会福祉協議会へ寄付

12R1Z 東京調布 LC

2018年5月8日調布駅前広場にて献血奉仕活動を行った。小雨が降る肌寒い中であった。



5/8

たが、献血の呼びかけや受付、協力者への御礼の品（神戸ドーナツ詰め合わせ）提供などメンバーが力を合わせて頑張った。また、過日開催されたチャリティゴルフ大会の獲得事業資金を調布市社会福祉協議会へ寄付を行った。献血、チャリティゴルフ大会にご協力頂きました皆様に心より御礼申し上げる次第である。東京調布 LC 会長 L 宮本和実

テーマ:献血
於 調布駅前広場



1R 合同 盲導犬育成街頭募金

リジョン・ゾーン合同アクティビティ

5月12日午前11時より、数寄屋橋交差点にて第1R最大の合同アクティビティである



5/12

盲導犬育成街頭募金活動が行われた。爽やかな好天のもと追原リジョン・チェアパーソン以下、各ゾーンからのべ43名が集結し、道行く人々に支援を訴えた。日本盲導犬協会のパンフレットと一緒に配布した盲導犬のシールも小さな子どもたちに大好評。盲導犬と触れ合う我が子を微笑ましく見守る両親の様子も印象的であった。今回から英・中・韓の3か国語を記載した募金案内パネルを用意するなど随所に 恒例アクティビティならではの

テーマ:盲導犬育成
於 数寄屋橋交差点



気づきや改善そして、合同アクティビティをより良いものにしていこうという各クラブの熱意が感じられた。募金金額は合計 253,294 円。レポート) 広報情報委員会

広尾いぬねこ里親会

2R3Z 東京山王 LC

東京山王ライオンズクラブは動物愛護のアクティビティとして、保護犬、保護猫の里親会(譲渡会)を渋谷区広尾駅近くの社会福祉法人福田会にて開催した。家族のいない犬猫の飼い主になりませんか〜という趣旨での開催で、今回がクラブとしては初めての取組。保護犬 20 頭以上、保護猫 30 頭以上が参加、その中には仔犬、仔猫もいた。「一組でも素敵な縁組ができたらと良いなという気持ちで開催」(大川会長)当日は晴天にめぐまれ、地域の方々、またク

5/12



ラブメンバーの呼びかけに応じた友人知人および協力団体の案内による方々など大勢が会場を訪れ、会場のいぬねこ達と顔合わせをし

テーマ:社会福祉
於 社会福祉法人福田会養護施設内広場



ました。結果として今回は3組の里親縁組の候補が見つかったとのこと。レポート) 広報情報委員会

全国南友好会 松山南大会

6R2Z 東京上野南 LC



5/12

五月晴れの5月12日(土)に全国南友好会・松山南大会が愛媛県松山市の全日空ホテルにて280余名にて開催された。この全国南友好会とは日本国内の〇〇南LCと、南が付くクラブが年に1回集う全国大会で、現在21クラブが所属し、昭和54年の豊橋南LC主催の第1回から今回で39回目を迎えた歴史ある大会である。毎回ご当地料理・アトラクションなどでおもてなしをし、全

テーマ:クラブ交流
於 愛媛県松山市の全日空ホテル



国のライオンズメンバーと親交を深めている。またオブザーバーとして東京江戸川南LC等親交があるメンバーのご参加も得て、多くのメンバーとの絆を深めることが出来ました。東京上野南 LC

東京昭島 LC 献血奉仕活動

13R1Z 東京昭島 LC

東京昭島 LC では2018年5月19日(土)10時から16時の間、JR青梅線 昭島駅の北口において献血奉仕活動を実施した。献血の状況は受付者数が50人、献血者数が43人、そのうち200ml献血が3人、400ml献血が40人となり、通常よりも多い献血者数となった。献血活動を10時開始早々に5人の方が受付に並び、献血を待ちわびている方が多いものだと驚いた。また4人のライオンズメンバー

5/19

が自ら献血活動に貢献した。献血会場を通りがかった子供達へは、ヘリウム風船を100個配布し、献血活動の普及のため通行人へ600個のティッシュを配布した。献血にご協力頂いた方々にはクラブ名が記載されたタオルを贈答した。当日は晴天であったため通行人も多く、献血活動と共に東京昭島 LC の PR 活動をおこなうことが出来た。東京昭島 LC 第一副会長 L 関飛雄一

テーマ:献血
於 JR 青梅線 昭島駅北口



防災体験施設見学

2R2Z 東京尾張町 LC

東京尾張町 LC では、去る5月20日(日)有明にある東京臨海防災拠点「そなエリア」においてKid's《学・楽》Discoveryと銘うち複合型児童招待アクティビティを開催した。東京に直下型地震が発生。という設定で「72時間を生き抜く体験ツアー」や防災学習を行った後、隣接する公園に置いて参加者と一緒にバーベキューを楽しんだ。当日は元地区ガバナー名誉顧問、L 河合悦子

テーマ:緊急対策
於 東京臨海防災拠点「そなエリア」

5/20

をはじめ、友好クラブの東京蒼天 LC や東京綾瀬 LC から多くのメンバーにご参加頂いた。今回のアクティビティを通じて、子供たちが未知の体験をすることで「生き抜く力」を育む一助となるような奉仕の可能性を感じさせられる一日となった。東京尾張町 LC 幹事 L 押山憲昭



「川で遊ぼう」もどってきたきれいな浅川

14R1Z 東京桑都 LC

5月20日(日曜日)八王子市役所近くの鶴巻橋付近浅川にて「八王子浅川子どもの水辺協議会の協力」のもと20数名の小学生、父母の皆様と市内の中心を流れる「浅川」の水辺を活用し、子どもたちが自然と触れ合うことで、環境を大切にする心、行動力を育成するため、「川で遊ぼう」アクティビティを行った。親子で触れ合いながら、川遊びや魚捕りの体験活動を行い、川底の石をひっくり返すなど

5/20



して捕えた小魚・エビ・水生昆虫を水槽に集め、図鑑を調べたり、指導員から教わったりして楽しい時間を過ごし、親子で楽しみなが

テーマ:環境保全
於 八王子浅川



ら川に関心を持ってもらうことができた。東京桑都 LC ゾーン総務 L 太田正利

「薬物乱用防止教室」～ライオンズクラブ 取り組みの歴史

330-A 地区の各ライオンズクラブで継続アクティビティとして「薬物乱用防止教室」の開催を行っているクラブは多い。今期、薬物乱用防止委員会（L 杉原委員長）が行ったアンケート調査においてクラブ単独あるいは合同で「薬物乱用防止教室」を開催したクラブは 54 クラブになっている。

薬物乱用防止教室とは、「学校行事等を利用し、青少年担当の警察官や麻薬取締官 OB、学校医や学校薬剤師等の協力を得て行う学校全体もしくは一部で開催するもの」（日本学校保健会）とあるが、実際にはライオンズクラブなど地域の民間団体の協力で行われる場合も多い。

文部科学省の平成 28 年度資料によると、全国の小学校・中学校・高等学校の薬物乱用防止教室の開催率は 82.5% で、その開催した学校へ 8.6% の割合でライオンズクラブ等の社会奉仕団体が講師を派遣している。（警察職員 35%、薬剤師 28.4%、保健所 5.4% など）全国約 33,000 校のうち、約 2,800 校に講師を派遣（薬物乱用防止教室を開催）していることになる。青少年健全育成においてこれだけの大きな影響力を持つアクティビティについて、ライオンズクラブの取り組みの歴史をぜひ知っていただきたい。

<最初の薬物乱用防止教室の実施・東京鷺谷ライオンズクラブ>



台東区立下谷中学校で講演する下谷保健所佐野衛生課長

1994 年（平成 6 年）3 月 3 日に東京鷺谷ライオンズクラブが台東区立下谷中学校で 3 年生を対象に音楽室で実施した。講師は下谷保健所 佐野衛生課長で講演のタイトルは「シ

ンナー等の乱用と健康」であった。

当時同クラブの幹事であった L 寺田義和（330 複合地区薬物乱用防止委員会副委員長）が（財）麻薬・覚せい剤乱用防止センターの阿部企画部長のアドバイスをを受け、そして佐野衛生課長を紹介され、下谷中学校に提案し実現した。

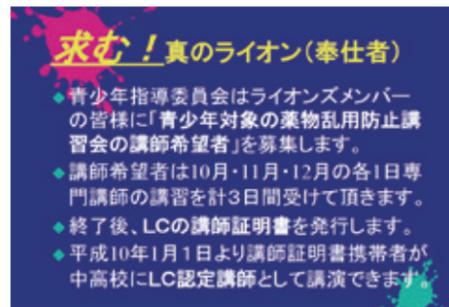
当日は東京鷺谷ライオンズクラブのメンバー 20 数名がクラブジャンパーを着用して参加、会場の音楽室に「ダメ。ゼッタイ。」の横断幕を掲げた。また同時に実施の様態を写真・ビデオ撮影し、プレゼンテーションキットを作成、台東区内全中学校（10 校）を訪問し説明、5 中学校の校長より実施の依頼を受けた。翌 1995 年 3 月にはこの 5 中学校において薬物乱用防止教室を開催した。

<台東区以外に中野区でも開催・東京中野ライオンズクラブ>

翌 1996 年 2 月 23 日には東京中野ライオンズクラブが中野区立第二中学校にて薬物乱用防止教室を開催、台東区以外に初めて広がりが出来た。台東区内 9 校、中野区内 2 校で開催されることになり、ここに至って講師の不足という問題がでてきた。

<薬物乱用対策推進本部が内閣府に設置される>

薬物乱用問題の深刻さ、低年齢化が進み、1997 年 1 月 17 日当時の橋本龍太郎総理大臣を本部長とする薬物乱用対策推進本部が内閣府に設置され、すべての省庁を横断する組織が誕生した。このころより警視庁管内における、地域の警察署とライオンズクラブの協力による取り組みが始まった。内容としては薬物乱用防止教室の講師を警察官が務め、ライオンズクラブメンバーは「ダメ。ゼッタイ。」の下敷き、生徒向け薬物乱用防止読本を生徒にプレゼントするというものであった。



<ライオンズクラブのメンバーを講師にしよう>

1997 年（平成 9 年）7 月、330-A 地区青少年指導委員会の寺田委員長が講師の不足をカバーするため佐野衛生課長、阿部企画部長に相談の結果、ライオンズクラブメンバーを講師として教育・養成のうえ、認定講師とする方向性が定まった。

取材) 広報情報委員会



啓発は、2007年4月「ダメ。ゼッタイ。」国連交流基金オーストラリア・ワインにあるBANDOC（国連薬物乱用防止オフィス）に贈る贈り物、首相官邸に表敬訪問し、安倍首相の激励を受ける全国から選ばれた高校生と講師（前掲佐野衛生課長）。

薬物乱用防止教育認定講師制度について

1. 1997 年 9 月 17 日、330-A 地区青少年指導委員会が創設した。コンセプトはライオンズの青少年指導委員会が発案し、ライオンズ単独ではなく下記の理由から（財）麻薬覚せい剤乱用防止センター阿部企画部長に共催協力を要請し（財）麻薬覚せい剤乱用防止センターとライオンズクラブ準地区との共同認定でスタートした。主な理由は、当時の薬物対策本部（本部長は総理大臣・以下各省庁で構成）の NGO に麻覚センター（元法務大臣、高辻正巳氏が理事長）が民間団体として加入し、未然予防キャンペーンを展開していた。ライオンズの 1 年ルールによる地区ガバナー交代に伴う事業継続性の困難を警戒した。更新期間は 2 年とした。（当時はガバナーと副地区ガバナーの 2 人。現在は第一、第二副地区ガバナーの 3 人なので 3 年の更新期間）

2. 国際協会からのトップダウンではなく、各準地区の賛同を得て日本全国 35 準地区に拡大したボトムアップのアクティビティである。



3. 1997-1998 年創設期には認定講師 97 名、当時は中学 3 年生が対象で、年間 3,000 人の生徒に薬物乱用防止教育を行った。20 年後の 2018 年現在では日本全国 35 準地区で受講認定講師延べ約 65,000 人の内、有効認定講師資格者、約 15,000 人、年間 400,000 人の主に小学 5 年生から中学 3 年生の義務教育の生徒に薬物乱用防止教育を行っている。（15,000 人の内中学校で活動して



いる講師は約 8%)

4. 2006 年から内閣府・厚生労働省・文部科学省・警察庁の 4 省庁から毎年継続して、ライオンズクラブ 8 複合（MD330-MD337）議長連絡会議の世話人と（財）麻薬覚せい剤乱用防止センターの理事長に、認定講師養成講座に対する「後援名義使用」の許可が与えられている。

5. 2010 年 3 月警察庁刑事局組織犯罪対策部長より「認定講師」の学校への派遣要請に関する協力の要請公式文書がライオンズクラブ 8 複合（MD330-MD337）議長連絡会議の世話人、後藤議長宛てに出された。同時に全国の県警本部に、ライオンズクラブの認定講師の活動に協力する通達が警察庁から成された。この趣旨は、青少年に対する薬物乱用防止教育は、警察官・教職員のみならず、社会奉仕団体のライオンズクラブが行う事により、社会全体が薬物乱用を許さない環境を造り出すことへの協力要請であると考ええる。

6. 文部科学省も全国の小中高校に対して、年に 1 回薬物乱用防止教室を開催するように通達を出し、外部専門講師を招聘し行う事を推奨している。幸い、ライオンズの認定講師も「学校薬剤師等」の



「等」の範ちゅうに含まれている。近年教育は地域社会と協力して行うとの方向で文部科学省のスタンスが定められている。ライオンズメンバーは「教科の専門家ではないが、人生の専門家」としての認知が為されている。学

校には教科の専門家はいるが、人生の専門家はいない。それを補填出来るのが、ライオンズの認定講師である。

7. 義務教育の場で認定講師が生徒たちに「薬物乱用防止教育」を行う事は、「全国民」に対してライオンズクラブを正しく理解させる PR に成る事は勿論、小中学生に「ライオンズクラブの方々が、仕事の時間を削っても自分たちの将来の為に、正しい人生の生き方、薬物乱用の取り返しのつかない被害、社会に貢献する事の大切さを教えて頂いた」との記憶を与える事が可能であり、奉仕活動の重要性を認識し、さらにライオンズクラブに良い認識を持つ様になる。

330 複合地区 薬物乱用防止委員会 副委員長 L 寺田義和

薬物乱用防止教室～現在の開催状況

- 1) 今期、薬物乱用防止委員会（委員長 L 杉原省吾）は地区内の各クラブに「薬物乱用防止教室」への取り組みについてアンケートを実施、199 クラブ中 103 クラブより回答を得た。
- ・クラブ単独で実施・・・計 34 クラブ・累計 175 回（小学校 126 回・中学校 40 回・高校 5 回その他 4 回）
 - ・ゾーン単位で実施・・・5R2Z・7R3Z・9R1Z 計 16 クラブ・累計 62 回（小学校 49 回・中学校 13 回）
 - ・複数クラブ合同で実施・計 4 クラブ・累計 9 回（小学校 3 回・中学校 6 回）
 - ・一度も実施していない・・・計 57 クラブ
- 以上のように実施したのは 54 クラブで計



246 回の「薬物乱用防止教室」開催となる。小学校で 178 回、中学校で 59 回、高校で 5 回、その他で 4 回という状況である。現状のライオンズクラブの「薬物乱用防止教室」アクティビティは小学校で行われるケースが多いことがわかる。

- 2) 今期の薬物乱用防止委員会の開催講座・セミナーは下記の通りである。
- ・第 1 回薬物乱用防止教育認定講師養成講座（2017 年 11 月 2 日開催）・新規・更新受講者 65 名
 - ・第 2 回薬物乱用防止教育認定講師養成講座（2018 年 2 月 22 日開催）・新規・更新受講者 68 名
 - ・第 1 回認定講師スキルアップセミナー（2017 年 12 月 21 日開催）・受講者 40 名
 - ・第 2 回認定講師スキルアップセミナー（2018 年 3 月 22 日開催）

- 3) 地区 HP に投稿（情報提供）のあったクラブは
- 東京町田クレイン（6/8）、東京国立（7/10）、東京麻布（9/14）、東京江戸川南（10/28）、東京田無（1/22）、東京銀座（1/29）、東京江東南（2/22）、東京蒼空（2/23）、東京調布（1/29～2/27・7 校）、東京隅田川（3/3）、東京蔵前（3/5、3/7・2 校）、東京玉川（3/5～3/12・6 校）の各クラブ。ほかに東京中野ライオンズクラブは自クラブの HP で「薬物乱用防止教室」開催 8 校の記録を掲載している。
- 開催の時期としては、学校側がスケジュールを組みやすい年度末の 1～3 月に集中して開催する傾向があることがわかる。



薬物乱用防止委員会 委員長 L 杉原省吾

- 4) 広報情報委員会に情報提供があったクラブのうち、興味深いケースがあったので下記紹介する。
- ・東京玉川ライオンズクラブ（会長 L 馬場久雄）・・・今年で 20 周年を迎える地元中学校での薬物乱用防止講習活動を玉川警察署との協力で開催。中学生 6 校、総勢 737 名が受講。ライオンズメンバー 14 名（総数 39 名回）が参加。玉川警察署生活安全課および東京都治安対策本部の協力を得て薬物乱用防止講習活動 20 周年を迎えた今年には 3 名の公認講師体制で実施。内 1 名は長年ペーパーライバーであったが、今回初めて講師デビューを果たし、晴れて生徒の前に立つ真の講師となった。

レポート）広報情報委員会

薬物乱用防止講習会

2018年3月5日～12日

今年で20周年を迎える地元中学校での薬物乱用防止講習活動を玉川警察署との協力で開催。中学生6校、総勢737名が受講。ライオンズメンバー14名（総数39名回）が参加。

訪問先中学校／受講者数：

世田谷区立玉川中学校	3年生	124 名
世田谷区立東深沢中学校	3年生	100 名
世田谷区立尾山台中学校	3年生	120 名
世田谷区立八幡中学校	1～3年生	191 名
谷区立用賀中学校	3年生	138 名
世田谷区立奥沢中学校	3年生	64 名

東京玉川ライオンズクラブ
警視庁 玉川警察署

**薬物乱用防止講習活動20周年を迎えた今年には3名の公認講師体制で実施
玉川警察署生活安全課および東京都治安対策本部の皆さんご協力ありがとうございました**

ゴールド認定講師資格を取得してL馬場 ペーパーライバー資格L野々の初講師 今年認定講師資格取得のL石田

薬物乱用防止教室～未来への提言

1. ある校長先生は薬物乱用防止教室で生徒に対して「君たちが将来ライオンズクラブの会員になれる様な、立派な社会人に成長することを期待している」との訓示をされました。これはライオンズの 20 年、30 年、40 年後の種を 1998 年から現在まで、20 年間蒔いている事に成ります。必ず将来良い結果が得られるでしょう。この運動を拡大継続し、薬物乱用防止教室を毎年年間 400,000 人→4,000,000 人の義務教育の生徒に行う事により、我が国の青少年の健全育成に多大な貢献をすることに成ります。その為には、ライオンズメンバーのさらなる賛同を得て、認定講師を現在の 15,000 名から 50,000 名に拡大する事が重要です。

2. 認定講師養成講座に参加の皆様は、薬物乱用の取り返しのつかない弊害を正確に学び、知識を取得されます。ライオンズのメンバーは、地域社会の成功者であり、少なくとも 100 名から 1,000 人以上の人々に影響を及ぼせる方々です。日本全国のライオンが認定講師を取得し、経営される会社の社員、取引先の方々、町会等地域社会の皆さん、親族の皆さんに「薬物乱用はゼッタイしてはいけません」との正しい理を説明する」事も重要な



- 奉仕活動です。「学校で生徒の前で講義を行う事が苦手な方も、立派に社会に貢献出来ます。」ライオンズクラブが日本国に多大の貢献が可能と成ります。
3. 十数年ほど前から「ゴールド認定証」制度が制定されました。この目的は、認定証を得ても、小中学校で講師をしない所謂「ペーパーライバー」対策をする事です。年間に数回（MD330 でも A・B・C 各地区で条件が異なっております）講師を務めた（もしくは会場に同行しただけでも良い準地区もある）講師がクラブ会長の証明を得て所属地区委員会に申請し、発行されます。特典としては、更新期間が 5 年となる事です。これは、もろ刃の剣でもあります。ゴールドを取れる方も、取れない方も出来てしまいます。認定講師養成講座の会場で「どうせゴールドが取れないなら、受講しても意味がないから止め

てしまおう。」との会話を時々耳にする様になりました。ゴールド認定証の陰で、薬物乱用防止教育認定講師の受講者が減少する事は本末転倒に成りかねません。

4. 「白色の認定講師証」の価値を再確認すべきです。日本国の薬物情勢を改善し、アメリカの様な薬物乱用が蔓延している状態に成らないようにして行くた

めには、ライオンズの認定講師の人数を拡大する事が根幹にあります。理由は 2 項で述べたとおりです。今年度（公財）麻薬覚せい剤乱用防止センターから「ゴールド認定証」の全国統一の提案が出されます。更新期間は 3 年に統一されます。（薬物のトレンドは早く 5 年の更新では対応できない）。「ゴールド認定証」取得条件も緩和されます。結論として、ゴールドも含めて「薬物乱用防止教育認定証」のハードルを下げ、すそ野を広げる事が大局に於いて、重要であり、専門家、先鋭化し結果として認定講師数が減少する事は、「木を見て森を見ず」と言わざるを得ないと考えます。

330 複合地区 薬物乱用防止委員会
副委員長 L 寺田義和



クラブアクティビティ報告

東京都障害者スポーツ大会の「卓球競技」を35年間支援、東京紀尾井町 LC

1R2Z 東京紀尾井町 LC

5/26～5/27

第19回東京都障害者スポーツ大会の「陸上競技」が行われた駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場の向かいの総合体育館にて、5月26日(土)、27日(日)の2日間、同じ大会の一競技として「卓球競技」が行われました。前年度までは1日(土曜日)だけの競技でしたが、競技人口が増えて今年から2日間となりました。「身体障害部門」「知的

障害部門」「精神障害部門」に分かれて競技が行われましたが、今年は例年になく多い約300名の選手が参加しました。参加選手たちは真剣に卓球台に向かい、その迫力には圧倒されました。我がクラブはこの大会が東京都主催になる以前より35年間に亘り支援を行って参りました。陸上競技場で応援に参加していた地区各クラブのライオン

テーマ:社会福祉
於 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館



も多数観戦に来て下さり心強く、また感謝の気持ちでいっぱいです。皆様お疲れ様でした。有難うございました。
東京紀尾井町ライオンズクラブ 会長 L 宮本志づ子

東京新都心 LC 東京都障がい者スポーツ大会 水泳競技も応援

11R1Z 東京新都心 LC

5/26～5/27

当クラブでは、毎年キャビネット行事で行われる障がい者スポーツ大会を例会振替にして、多くのメンバーの参加を促しています。特にメンバーが出向している委員会のアクティビティは応援する意味でも、クラブメンバーの参加を募っています。参加しやすい駒沢競技場の他に、当クラブでは長年ライオンズクラブの参加者の少ない水泳競技の応援も続けております。今後もっといろんな競技に広くサポートできると競技者にとっても良い



環境が作れそうです。

11R-1Z 東京新都心ライオンズクラブ
幹事 L 山口俊三

テーマ:社会福祉
於 武蔵野の森 総合スポーツプラザプール

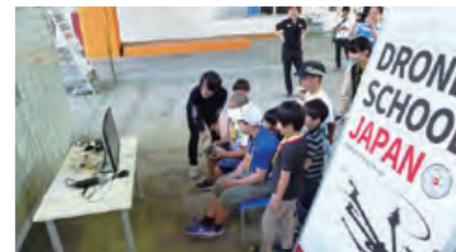


東京豊新 LC 第2回親子ドローン体験教室(あしなが育英会)開催

8R1Z 東京豊新 LC

5/27

当クラブは、昨年に引き続き江東区潮見のドローン専用飛行場にて第2回親子ドローン体験教室を開催致した。小中学生10名と保護者、関係者、メンバー合計32名が参加。ドローンが社会に認知され、その映像技術が広い分野で活用され、操縦技術者が新たな雇用に繋がっていることを座学しました。その後小型ドローンの操縦訓練を体験した。関東各地から参加いただいた子どもたちと保護者、募集をしていただいたあしなが育英会



のスタッフ、一般社団法人ドローン操縦士協会と株式会社ドローンネットの皆様には企画から当日の運営まで協力を頂き改めて御礼申

テーマ:青少年健全育成
於 江東区潮見 ドローン専用飛行場



し上げます。当日、ドローンを初めて操縦体験する子どもたちの笑顔や笑い声が成果となった。
東京豊新 LC 会長 L 杉山賢二

第9回こいこいパーティ

12R1Z 東京武蔵野 LC

6/2

2018年6月2日(土)午前11時より武蔵野スイングホールに於いて、主催:東京武蔵野 LC、協力:社会福祉法人武蔵野により「第9回 こいこいパーティ」が開催された。細川孝雄ガバナーと12R1ZZC L 浅野晴夫も駆けつけ、参加者は130名を超える方々となった。先輩方のお話を聞いていると、最初は手探り状態でのスタートでしたが、回を重ねるうちに、招待者の方々や付き添われた家族、施設の皆様と協力してより良い内容にすべく取り組んでまいりました。5回目より、ナツメグ

さんが参加されるようになってから招待者の方々が歌に合わせて思い思いのパフォーマンスをされる様になりより親睦を深めやすくなり今回も、楽しい時間を過ごして頂き本庄施設長様からも、お礼のメールの中で皆さんが大変喜んでいてご家族の皆様からも感謝のお礼の言葉も頂戴しました。私達、東京武蔵野 LC のメンバーは参加される招待者皆様が楽しんでご家族の皆様喜んで頂けることが最大のご褒美です。
東京武蔵野 LC 地域・国際アクティビティ委員長 L 荻原義明

テーマ:障害者福祉
於 武蔵野スイングホール



あだちけいおんフェスタ 2018

テーマ:青少年健全育成
於 西新井文化ホール

5R3Z 東京足立 LC

6/3

今年で6回目を迎えるこの大会は西新井文化ホール(ギャラクシティー)で行われました。年々参加校のレベルが向上し、入場者数も着実に増えています。まず、なぜ「軽音楽」なのかという事ですが...高校には様々なクラブ活動がありますがこの「軽音楽」に関してはあまり関心がもたれていません。そのため、せいぜい文化祭で演奏するくらいです。発表する場がほとんどありません。いまでは、どの学校にも軽音楽部はありますが実状はこの程度です。なんとかしてこの子どもたちに、大きな舞台上で演奏させたいという強

い思いが我々足立ライオンズクラブの気持ちを動かしました。そして、正会員数がわずか14名のクラブで「どうやってこれだけの規模のアクティビティを実施できるのか」との疑問には「周りを巻き込むことです」とお答えしています。今日の大会には10校が参加し、一年間の努力の成果を競いました。ことしも都立足立新田高校が優勝(6回の内5回)し常連校になりました。その他準優勝、特別賞とありますが、入賞を逃した学校も含めて目標に向かって一年間努力したという自信は将来の大



きな力になると確信しています。この輪が全国的に広がって高校野球の甲子園のような大会になれることを願いつつ続けて行くつもりです。
東京足立ライオンズクラブ幹事 L 武居正幸

「第12回障害者ダンス大会ドレミファダンスコンサート♪」を開催

10R1Z 東京表参道 LC

6/10

ライオンズクラブが誕生し100周年という輝かしい歴史の節目である今期、6月10日(日)に「第12回障害者ダンス大会ドレミファダンスコンサート♪」を東京体育館で開催した。小池東京都知事をはじめ多くの来賓の方々には挨拶をいただき、会場は華やいだ。クラブのメインアクティビティであるこの大会には、知的・身体・重度・精神・視覚・聴覚障害・ダウン症などあらゆる障害のある方、そのご家族、施設の方をご招待している。様々な音楽とダンスを自由に心から楽しみ、障害者・健常者関係なく一緒にその空間を楽しむ

ことが出来る優しさ溢れるコンサートになるように企画している。クラブメンバー、約1,000人の東京表参道 LC サポーターが、この日に向け全力で準備してきた。障害者ダンスチーム、世界のダンス、チアダンス、バレエ、ジャズ、吹奏楽、ロックバンドが順次出演し、参加者全員が楽しんでこのコンサートの時間を過ごした。2020年東京オリンピック・パラリンピックの競技会場になるこの東京体育館、今回会場のメインアリーナはまもなく改装工事に入る。
東京表参道 LC 会長 L 左近聖子

テーマ:障害者福祉
於 東京体育館



クラブ周年行事

東京ピース LC 5周年記念式典

1R2Z 東京ピース LC

5/11

5月11日 ロイヤルパークホテルにおきまして、L中村泰久国際理事、L山浦晟暉ライオンズクラブ代表国連薬物担当大使、細川孝雄ガバナーはじめ、約350名のご来臨を賜り東京ピース LC の5周年記念式典チャーターナイトが厳粛に華やかに執り行われた。5年前に表参道 LC を親クラブとして結成以来、東北復興支援、青少年育成として故星野仙一監督が提唱するアスリート支援、貧困家庭の子供たちへの食料支援など様々な活動を行ってきた。今回5周年の式典内では、小児がんの子供たちのためにL阿部かな子がその場で髪を切りへ



アドネーションする場面があり、美容師でもある表参道 LC の L 松浦辰吉にご協力頂いた。懇親会では歌とダンスで手話を若い世代に啓蒙している HANDSIGN の LIVE や、タカラジェンヌが駆けつけてくれるサプライズもあり楽しい会であった。

東京ピース LC 会長 L 山下規介



東京ハッピーきもの LC 結成式

1R2Z 東京ハッピーきもの LC

5/11

2018年5月11日、ロイヤルパークホテルで行われた東京ピース LC CN5周年記念式典内で、「東京ハッピーきもの LC」の結成式が行われた。クラブ名の通り、メンバーの多くが着物で参加し、とても華やかな結成式となった。

国際理事や元国際理事、元地区ガバナーなど錚々たる方々に見守られながらチャーター申請書に細川ガバナーのサインを頂き、緊張した面持ちでライオンズの誓いを唱和、その後



ガバナーからラベルピンを頂戴した。メンバーは着物の着付け講師の方々など、日本文化を全国から世界に向けて発信している方々である。尚、クラブ会則はライオンズク



ラブ会則及び付則標準版が採択され、追原1RRCご確認の下1R2Zに配属が決定した。

東京ピース LC 会長 L 山下規介

チャーターナイト 45周年記念式典

5R2Z 東京江戸川中央 LC

5/22

錦糸町東武ホテルレバント東京4F錦の間に於いて東京江戸川中央 LC CN45周年記念式典が開催された。出席者約250名。会長L岩田将和の開会のゴングと挨拶の後、細川孝雄ガバナー、LC代表国連薬物担当大使・元国際理事L山浦晟暉、LCIF東日本エリアコーディネーター・元地区ガバナー名誉顧問L大石誠、330-A地区・前地区ガバナー名誉顧問会議長L村木秀之祝辞、新入会員2名の入会式、CNメンバーL鶴ヶ谷正司への記念品贈呈が行われた。45周年記念アクティビティとしては

江戸川区教育基金金一封。第二部では中畑清さんのトークショー。第三部の祝宴ではGMT330コーディネーター・元地区ガバナー名誉顧問L石井征二、仙台いずみLC会長L廣本浩二の祝辞のあと、ガバナーエレクトL今井文彦の乾杯、手話ダンスサニー燦々の方々とLCメンバーの手話、L庄毛安那のミュージックショーと盛りだくさんの楽しいチャーターナイトであった。

レポート) 広報情報委員会



キャビネット関連報告 委員会セミナー等告知

3/26 (月) 春期来日生のキャンプとフェアウエルパーティー

— YCE 委員会 — 於 八王子セミナーハウス、ホテルグランドヒル市ヶ谷

3月26日(月)羽田空港に到着したタイからの派遣生たちと3泊4日のキャンプを行いました。

マザー牧場、高尾山の登山、サントリービール工場の見学、リニアモーターカーの見学、河口湖から富士山バックに記念写真、浅草でてんぷら定食を食べ、食品サンプル製作体験と昼間はいろいろな場所で研修を行いました。そして夜はL北岡による日本語の授業、みんな積極的に日本語を覚えようと本当に一生懸命に勉強をしていました。

キャンプ最終日にはフェアウエルパーティー



が開かれ、330ABC地区のガバナー達もタイの学生たちとのコミュニケーションを楽しんでいました。キャンプ終了後は各ホスト家庭のもとに行きホームステイを楽しんだようです。4月8日に羽田空港から帰国の途につ



きましたが、最後はホスト家庭の方々とお別れとなりました。

YCE委員会 委員長 L須藤修

5/9 (水) 薬物乱用防止親睦ゴルフコンペ

— 薬物乱用防止委員会 — 於 美里ロイヤルゴルフクラブ

薬物乱用防止委員会主催の親睦ゴルフコンペを美里ロイヤルゴルフクラブにて開催致しました。(参加者105名、委員会メンバー12名、合計117名)総合優勝:L御嶽正敏(東京江戸川東LC)、2位:L松田勉(東京新世紀LC)、3位:L大竹良雄(東京世田谷LC)、ベストスコア74:L是枝洋一(東京ゴルフLC)。女子優勝:L李英淑(東京新世紀LC)、女子ベストスコア82:L菜津本二夜(東京キング

LC)、ニアピン:L荻野桂一(東京神楽坂LC)、L高根英樹(東京キングLC)、L村上隆(東京ウエストLC)、ドラゴン:L黒井朝久(東京尾張町LC)、L成田繁壮(東京キングLC)、L浅野泉(東京ウエストLC)、L宮本和美(東京調布LC)。天候の悪い雨の中でのスコアが70台5人と大変素晴らしいコンペでした。

薬物乱用防止委員会 副委員長 L川名喜正



5/14 (月) 退会防止拡大シンポジウム

2018年5月14日、会員増強委員会の主催により「退会防止拡大シンポジウム」が開催され、約140名のメンバーが参加した。会員増強だけでなく、退会を防ぎ維持すること



がとても重要であるとの考えで企画された。第一部では、過去に退会を考えた事があるが、克服して大変活躍されている方々がパネリストとして参加し、題して「その時なぜとどまったのか?」パネルディスカッション方式で行われた。第二部では、「退会者を防ぐポイントはここだ!退会パターンからそのヒントを探る」と題して高桑会員増強委員長による講演が行われ、退会理由や退会防止対策、具体的な退会防止に役立つツールなどの紹介が行

— 会員増強委員会 — 於 AP 西新宿

われた。シンポジウム終了後には、当日参加も含め約100名以上のメンバーが懇親会に参加し交流を深めた。



レポート) 広報情報委員会

6/4 (月) 「台湾東部地震お見舞金」のご協力お礼報告

— 緊急対策・復興支援委員会 — 於 第4回キャビネット会議



2018年2月6日深夜、台湾東部の花蓮(カレン)沖でマグニチュード6.4の地震が発生しました。揺れが最も大きかった花蓮市では死者17名負傷者280名以上の深刻な被害がありました。姉妹提携を結ぶクラブも数多い「台湾」での災害に対し、委員会では復興支援協力する方法を討議し、「台湾東部地震お見舞金」のご協力を各クラブの皆様にお願ひすることとしました。なお、地震直後に日本ライオンズ(8複合)より1,050万円の支援をしています。その結果、5月1日時点で計88クラブから3,502,500円もの浄財をお預かりし、全額を無事台湾に送金致しました。各クラブの皆様のご協力に大変感謝しております。送金を受け、台湾の花蓮地区のガバナーから感謝状が2通届きました。細川ガバナーと山田達委員長にそれぞれ宛てたものです。緊急対策・復興支援委員会副委員長 L野下浩世



6/4 (月) 環境への配慮「はじめませんか? エシカル消費」

— 環境委員会 — 於 第4回キャビネット会議

「はじめませんか? エシカル消費」パンフレットを、330-A環境委員会が制作し、各クラブに配布しました。

10月に開催した細川孝雄ガバナーメインアクティビティ「環境シンポジウム」で基調講演された、東京大学名誉教授・山本良一先生の監修です。エシカル消費とは、「人や社会、環境に配慮したものやサービスを選んで消費する」という意味です。消費者として私たちのできるエシカルの例をあげると、

- ・長寿命でエネルギー効率の良いLED電球を選ぶ
 - ・燃費の良いエコカーを購入する
 - ・太陽光パネルの付いた省エネ住宅に住む
 - ・風評被害にあっている地域の農産物を購入する
 - ・地元の農家さんから、直接オーガニック野菜を購入する
 - ・フェアトレードと呼ばれる公正な貿易によって適正価格で輸入されたバナナやコーヒー、チョコレート、紅茶などを購入する
 - ・オーガニックコットンで作られた洋服を着る
- 実は私たち消費者は、日々の買い物を通じて、世界に影響を与える力を持っています。「貧困問題」「人権問題」「気候変動」を解決するための、

大事なきっかけです。環境活動や環境保全という言葉は、とっつきにくいという印象を受けやすく、多くの人が「気にはするが実際に行動するには至らない」というのが現状だと思います。しかし、環境を良くするためには少数の人の環境活動ではなく、多くの人の「小さな環境への配慮」が大切だと考えます。

ライオンズクラブにとってのエシカル(倫理)は「環境について私たちの出来ることを考え、課題を見つけそれについて活動して、それを発信していく」ということだと思います。「はじめませんか? エシカル消費」のパンフレットをもとに環境について学び、新たな発見をしていただき、さらに環境について考えるきっかけになっていただければ幸いです。

330-A地区 環境委員会 環境委員会副委員長 L中川喜美枝



6/4 (月) 第4回キャビネット会議を開催

— キャビネット — 於 東京プリンスホテル

今期最後の第4回キャビネット会議を6月4日14:00~16:30に東京プリンスホテルにおいて開催した。出席者はキャビネット構成員ほか地区キャビネット役員、330複合地区役員など計261名であった。ガバナー挨拶の後、先に送った台湾東部地震お見舞金に対する台湾よりの感謝状の伝達がおこなわれ、また会員増強の表彰が行われた。(3月、4月会員増強アワード)第1位 東京世田谷LC(純増12名)、第2位 東京横田LC(純増9名)、第3位 東京ピースLC(純増7名)であった。その後重要協議事項として一般事項の承認、次期キャビネットへの引継ぎ



事項の確認などがおこなわれた。各位よりの提出案件としてリジョン総務、ゾーン総務の設置(任意)と発言、議決権の制限などについて承認された。その後報告事項について説明、そして国際会長賞等アワード贈呈式が行われ、最後に荻野キャビネット会計の閉会の辞により終了した。その後この一年間のキャ

ビネット執行部の慰労を兼ねて懇親会が催され、キャビネット幹事団の合唱、細川ガバナーのチェロ演奏などが披露された。

レポート) 広報情報委員会

6/6 (水) 次期リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンセミナー開催

— キャビネット — 於 東京都赤十字血液センター4階会議室

2018年6月6日水曜日13時~18時30分、東京都赤十字献血センター4F会議室に於いて、ライオンズクラブ国際協会330複合地区「次期リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンセミナー」が開催された。330A・B・Cの各RCと各ZCが参加した。指導力育成・青年アカデミー委員会 副委員長のL日下勲より開会の言葉、細川ガバナーの挨拶で始まり、セミナーの趣旨は、「RC・ZCが、各クラブとキャビネットをつなぐ重要な役割である」ことを確認、現在のライオンズクラブ国際協会の方針を把握、理解、来期に変革をもたらすためである。研修の全プログラムは5項目、

- 1) ゾーン・チェアパーソンの役割(60分)
 - 2) レベル間コミュニケーションの促進(60分)
 - 3) クラブ・コンサルタントとしての役割(60分)
 - 4) 成功するための目標設定と行動計画(60分)
 - 5) LCIフォワードとGATについて
- 講師は、330複合地区 GLT330複合地区コーディネーター 元地区ガバナーのL濱野雅司。パワーポイントと資料での講義の時間、テーブルごとのクラブが抱える問題に向き合うディスカッションの時間、研修マニュアルに基づき、個々にRC・ZCになるために必要な事を考える時間があり、個人に、クラブに、ゾーンに、ライオンズクラブに向き合う事が出来た。5時間



30分におよぶセミナーは、各RC・ZCメンバー同士の士気とライオンズクラブへの理解が高まり、現在の問題は何か解決策は何かを考える機会となり、大変に有意義な時間となった。終了後には、参加者に終了証が授与された。

レポート) 広報情報委員会

6/8 (金) 中長期ビジョン委員会セミナーを開催

— 中長期ビジョン委員会 — 於 東京都赤十字血液センター

中長期ビジョン委員会(委員長:L中嶋丈夫)は6月8日15:00~17:00に東京都赤十字血液センターにおいて今期最後の委員会セミナーを開催した。

第1部においては来賓あいさつの後、東京都オリンピック・パラリンピック準備局運営担当部長の田中彰氏により「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた都の取組」と題して、約2年後に開催される同大会の準備状況、それから大会ボランティアの募集について詳しく説明をいただいた。第2部においては地方創生(上野文化の杜支

援等)についてのパネルディスカッションを、上野観光連盟事務総長 茅野雅弘氏、NTT東日本ビジネスイノベーション本部課長 北川智之氏、(株)電通 第4ビジネスプロデューサー 城戸正幸氏、中長期ビジョン委員会 中嶋委員長、同 小笠原副委員長の5名のパネラーにより行った。中長期ビジョン委員会では3年前後の中期目標を策定し地域社会への貢献として

- 1) 東京オリンピック・パラリンピックとの連携(支援)
- 2) 上野文化村支援(上野の町おこし文化に



についての協力)などを視野に入れている。レポート) 広報情報委員会

第19回東京都障害者スポーツ大会を支援



2018年5月26日(土)、27日(日)の二日間、第19回東京都障害者スポーツ大会(陸上競技)が駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場において開催された。今年度も330-A地区は年次大会記念アクティビティとして全面的に支援、協力をしている。26日当日の地区よりの支援参加者は約600名で、27日は約500名であった。



担当委員会である社会福祉・障がい者支援委員会(L後藤義英委員長)およびキャビネット幹事団は早朝より会場に駆けつけ、受付、表彰準備、弁当手配などに奔走した。午前9時30分より開会セレモニーが開始、細川ガバナーが協力団体の代表として競技参加者、観客席の父兄、支援関係者に開会の挨拶を行った。その後フィールドでは競技参加者が日頃の練習の成果を発揮すべく、多数の観客が見守る中、競技を行った。各競技後に種目別に順次表彰式を行い、メダル授与それから万歳三唱をして競技参加者の皆さんの健闘を称えた。

レポート) 広報情報委員会



キャビネットよりお知らせ

■ライオンズクラブソング・コンペティション・グランプリ受賞曲「～永遠に～ ZERO TO ONE」のCD版面上およびジャケットの表記の訂正およびお詫び

ライオンズクラブソング・コンペティションプロジェクトチーム

ライオンズクラブソングコンペティションでグランプリを受賞した楽曲「～永遠に～ ZERO TO ONE」の、CD版面上およびジャケットの表記に誤りがありましたことを紙面を借りてお詫び申し上げます。

既に正しい表記のCDとジャケットを製作し皆様のクラブにお届けすることになっております。

この「～永遠に～ ZERO TO ONE」が会員の皆様に歌い継がれることによってZERO TO ONEを実感できる端緒になれば今期の一番の収穫として望外の喜びです。



■330-A地区発行100周年記念誌中の誤り箇所と訂正願い

100周年記念誌委員会



先に各クラブ事務局を通して配布しました100周年記念誌中で、下記の訂正箇所のご指摘をいただきましたので、お手数ですが訂正宜しくお願い致します。

ただ今100年誌の再校正を行っております。その結果は、330-A地区のホームページに「100周年記念誌電子版」としてアップする予定です。

・50～51ページ

上段に掲載してある東久邇 成厚元ガバナーの氏名が製本のとじ込み部分に隠れている。

下段に掲載してある今井 三和元ガバナーの氏名が製本のとじ込み部分に隠れている。

・145ページ

東京城東ライオンズクラブの紹介記事で、クラブピンバッジの写真が掲載されているが、誤って東京深川ライオンズクラブのピンバッジ写真が掲載されている。

正しくは右のピンバッジです。

・157ページ

東京高輪ライオンズクラブの紹介記事で、バナー写真が掲載されているが、誤って、東京西新井ライオンズクラブのバナー写真が掲載されている。

正しくは右のバナーです。



50～51ページ

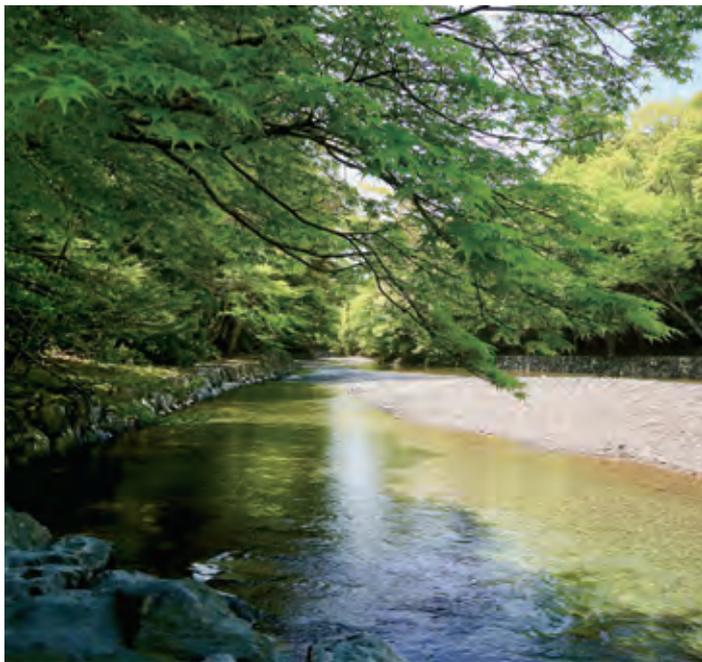


※1) 145ページ、東京城東LCバッジ



※2) 157ページ、東京高輪LCバナー

※1及び※2は、記念誌掲載のものと同サイズになっています。



伊勢神宮 五十鈴川 撮影者：L吉岡 晋

表紙説明

新緑の木々の下、水面に細かな水紋を描きながらも見事に緑を映している清流は、伊勢神宮内宮の西側を流れている五十鈴川である。古くから清流とされ、御手洗場（みたらしば）が作られている。「神聖な川、清浄な川と知られる五十鈴川の水で心身ともに清めてから参参しましょう。天気の良い日は五十鈴川「御手洗場」で口と手を清めることをお勧めします」（伊勢神宮）と推奨されている。伊勢神宮内宮に参拜するにはこの川に架かる宇治橋をわたる。宇治橋は、聖俗界を分ける境界といわれる。これほどまでに有名な五十鈴川は自然の清流を生かしながらも、古来より人間の手によってよく管理され、その価値を保ってきた。今期、細川ガバナーのメインテーマは環境であり、今いちど環境の意味をよくかみしめてみたい。環境保全とは自然を放置するのではなく、その価値を損なう可能性について事前に予測、保護の措置をとって初めて環境を保護したといえる。表紙写真の清流の中央に上下の明るい光の道筋が見える。これからも永遠にこの素晴らしい環境が保たれるような、そんな明るい未来をそこに感じる。

広報情報委員会委員長 L 佐原幸雄

主要行事予定

- 第 101 回国際大会：2018 年 6 月 29 日～7 月 3 日：米国 ネバダ州、ラスベガス
- 国際会長公式訪問：2018 年 9 月 3 日（月）：東京プリンスホテル
- 第 57 回 OSEAL フォーラム：2018 年 11 月 15 日～18 日：中国 海南省
- 330-A 地区ライオンズデーアクティビティ：2018 年 11 月 24 日（土）：港区スポーツセンター
- 330-A 地区第 65 回年次大会：2019 年 4 月 13 日（土）：東京プリンスホテル
- 330 複合地区第 65 回年次大会：2019 年 5 月 18 日（土）：東京プリンスホテル
- 第 102 回国際大会：2019 年 7 月 5 日～7 月 9 日：イタリア ミラノ

編集後記

昨日の午前、初の米朝首脳会談が行われました。期待された核兵器放棄という確約はなく、今後の協議にゆだねられたようです。これから、朝鮮半島をめぐる米、中国、ロシアなど大国のパワーゲームと、その地域・近隣にある日本・韓国・台湾それから東南アジア諸国の自国の安全保障をめぐる交渉、水面下での駆け引きなど目まぐるしい状況の変化が予測されます。

日本の人口減少問題が提唱されて久しくなりますが、山手線の電車（新宿一池袋）には近隣諸国から来た若者があふれんばかりに数多く乗っています。10 年ほど前まで関西空港には閑古鳥が鳴いていましたが、いまやアジア諸国からの日本の玄関口ともいえるほどの存在で、LCC を利用してやってきた若者で大繁盛をしています。働き口があり、住みやすく、政治的に自由度の高い日本を目指してこれからも大挙して押し寄せてくるでしょう。人口減少問題は意外な形で解決するかも知れません。

変化への対応、それを予測し対策をして初めて良い結果を得られます。政治家が口癖のように「安全・安心に暮らせる日本」、「清潔で緑多い環境」、それらを保つには相当の覚悟と変化への準備が必要です。

青少年の健全育成、それが日本の将来を明るくするというに異論はないと思います。その意味で今号には東京 2020 オリンピック・パラリンピックそれから薬物乱用防止教育をテーマとした特集記事を企画しました。

広報情報委員会委員長 L 佐原幸雄

クラブアクティビティ・委員会セミナーの予告、報告は、330-A 地区 HP 右上の投稿欄からお願いいたします。330-A NEWS デジタル版は、過去の地区ニュース 6 年分が掲載されていて他クラブのアクティビティやキャビネット活動の変化を見ることが出来ます。

◆ HP は、「330A で検索」



◆電子版 QR コード

広報情報委員会メンバー [2017-2018 年度]

L 佐原 幸雄	委員長	(東京みやこ LC)
L 茶谷 彰彦	副委員長	(東京ピース LC)
L 後藤 裕文	副委員長	(東京法政 LC)
L 坂本 純一	副委員長	(東京三鷹 LC)
L 荒牧 知子	委員	(東京 LC)
L 泉 孝之	委員	(東京葵 LC)
L 高 亨叔	委員	(東京銀座 LC)
L 萩 幸旗	委員	(東京ヒルズ LC)
L 田下 一雄	委員	(東京隅田川 LC)
L 篠崎美千代	委員	(東京ウィル LC)
L 津守 勝男	委員	(東京大森 LC)
L 上辻 利隆	委員	(東京五反田 LC)
L 矢追 秀紀	委員	(東京ウエスト LC)
L 飯田 容子	委員	(東京表参道 LC)
L 桂 太郎	委員	(東京世田谷 LC)
L 大和 祥郎	委員	(東京国立 LC)
L 奥山 貞夫	Adv.	(東京葛飾 LC)
L 赤尾 嘉晃	Adv.	(東京豊新 LC)
L 荘 英隆	Adv.	(東京恵比寿 LC)
L 吉岡 晋	撮影協力	(東京けやき LC)
L 新井 大介	撮影協力	(東京新宿 LC)
L 宇田 英樹	担当副幹事	(東京銀座 LC)